

霜出小学校PTA森林活動報告書

SARUYAMA DAYORI



サル山だより

第1号

平成29年2月1日発行

学校林「サル山」を利用した森林活動

霜出小学校区は、南九州市知覧町のほぼ中央に位置します。学校の規模は、平成28年現在で児童数87名、教職員15名、PTA戸数56戸。保護者の8割は会社員等で、専業農家が少ないという特徴があります。

学校林は、学校から約5km離れた猿山（標高216m）の北側斜面にあり広さは約2.4haです。

サル山には、森林学習や木工体験の活動拠点として、5×8mのウッドデッキがあります。ここから、山並みや南薩縦貫道「金山水車インター」を見下ろすことができます。木陰にあるので、気持ちのいい空間です。

家族で出かけて、お弁当を食べたり森林浴を楽しむ場として、ぜひご利用ください。デッキの周りに設置した巣箱からは、小鳥のさえずりが聞こえてくるかもしれません。

森の観察ゾーンには、クリやドングリ、クヌギなどを植樹しています。動植物あふれる豊かな森に、みんなで育てていきましょう！

みなさんは、霜出小学校の学校林がどこにあるか知っていますか。数年前まで、学校林は愛校作業の時に保護者の一部が道路際の草払いを行うぐらいでした。そのため、存在すら知らないまま卒業する児童や保護者、先生方もいたと思います。

そんな折、平成26年度から霜出小学校に「緑の少年団」が発足しました。そこで、少年団の活動拠点となる学校林を整備しようと、熱意ある保護者が立ち上がり、学校林再生に向けたプロ

ジェクトがスタートしたのです。まず、平成26・27年度に伐採・植林を行い学校林を再生させ、28年度にはウッドデッキがお目見えしました。

学校林は、60年以上前の保護者らが子どもたちの教育に役立てるために植林し、歴代の保護者の手で管理されてきたものです。この思いを受け継ぎ、自然の大切さを体験的に学ぶことを通じて、この地を故郷の風景として心に刻んでほしいという願いを込めて、この活動が行われています。

霜出小学校林「サル山の森」イラストマップ



平成26年度

間伐…木を大きく育てるため小さな木を伐採すること。
除伐…スギ・ヒノキ以外の木を伐採して、取り除くこと。

荒れていた学校林を間伐・除伐して、作業路開設などの森林整備を行いました。そのほか、木工制作やシイタケ菌のコマ打ち体験、運動会の緑門作りなどを行いました。



平成27年度

主伐…育った木を材木利用するために伐採すること。
植樹…新しく林や森を作るために木の苗を植えること。

学校林の約半分（1.24ha）を主伐し、樹齢約60年のスギ・ヒノキ約900本を売却しました。経費を差し引いた売却価格は70万円でした。伐採した後の土地には、スギ2000本のほか、クヌギ200本・クリ200本・ドングリ200本・イロハモミジ50本を植樹しました。

これは、「サル山学校林整備プロジェクト」として児童らが話し合って決めたものです。

そのほか、遊歩道・階段設置や、看板・簡易トイレ・倉庫などの環境整備のほか、昨年に引き続き、木工制作やシイタケ菌のコマ打ち体験、緑門作りなどを行いました。

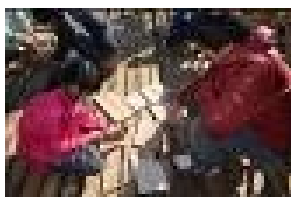


平成28年度

保護者の中には、大工やパワーショベルのプロも。
ウッドデッキやアスレチック作りに、大活躍！

3年目となる平成28年度は、2カ年にわたる
整備事業により再生した「サル山」を、どのよ
うに活用していくかが課題でした。そこで、
「サル山まるごと体験プロジェクト」と題し
て、夏休みの昆虫・植物採集を皮切りに、
運動会での緑門作りやシイタケ原木の伐採、
ウッドデッキ作り、簡単なアスレチック作り、
学校遠足などで毎月のように山を訪れました。

ウッドデッキは、遠足での森林散策、「さる
やま祭り」での木工体験（巣箱作り）を行う
基地になりました。「緑の少年団」の活動拠点
としても活用されています。そのほか、森林学
習のバスツアー、6年生による卒業制作として
看板作りなどを行いました。



こうか 事業の効果

平成28年7月に宮城県
仙台市で行われた「学校の
森、子どもサミット夏大
会」に、児童2名が参加し
て活動を紹介しました。

また、新聞記事などを見
た地域の方々から、感謝の
声や今後の活動に期待する
声や声が寄せられています。学
校林の活動は、学校・地
域・保護者の交流を深め
て、つながりを強くする活
動へと発展しています。



**学校林に
ロτζジ完成**

知覧・霜出小PTAおやじの会

南九州市知覧の霜出小学校学校林に16日、活動拠点となるロτζジが完成した。2年前、保護者らが「長く荒れたままの状況を何とかしたい」と一念発起し、整備を続けてきた。子どもたちと仕上げのくぎを打ち、餅をまいて完成を祝った。

学校から約4キロ離れた学校林は、総面積約2・2ヘクタール。数回活動に生かそうと、PTA事業部とおやじの会が中心となって2014年度から県の森林環境整備事業などを利用して、クスギヤクリ、紅葉など計2650本を植え遊歩道を整備した。

ロτζジは広さ約40平方メートル。PTA副会長の家老さん（おやじ）らが、仕事後や休日を利用して完成したロτζジと児童、保護者ら。

「南九州市知覧」

仕事後、休日に精出す

広さ40平方メートル

「学校と親、子どもたちで有効に活用し、次の世代に長く引き継いでいきたい」と家老さん。近く、駆除防止の柵も取り付ける予定だ。

前田賢治校長は「思っていた以上に、広くて良いものができた。秋の遠足やシイタケの駒打ち、木工教室など全学年の教育活動に広く活用していきたい」と話した。

（入角里 綾子）

平成27年9月～平成28年12月の活動状況

年月日	活動種目	活動主体 (科目)	参加者数		活動の内容
			参加 対象	人員	
27. 9. 26	林業体験	PTA	おやじの会	34	大運動会緑門作り
27. 10. 22	学校林整備・保全	委員会活動	5～6年	8	学校林整備プロジェクト話し合い
27. 12. 12	学校林整備・保全	PTA	おやじの会	15	学校林遊歩道（階段）作り
28. 1. 13	森林体験学習	図 工	6年	14	木工教室（間伐材使用）
28. 1. 26	森林体験学習	社 会	5年	15	しいたけ駒打ち体験
28. 2. 10	林業体験	総合的な学習の時間	4～6年	49	学校林植樹体験
28. 7. 23	森林体験学習	PTA	児童，保護者	15	昆虫・植物採集教室
28. 9. 22	林業体験	PTA	児童，保護者	7	枝打ち体験（運動会緑門材料）
28. 9. 24	林業体験	PTA	児童，保護者	48	運動会緑門作り
28. 10. 16	学校林整備・保全	PTA	おやじの会	21	シイタケ原木伐採と活動拠点作り
28. 11. 21	森林体験学習	学校行事	3・4年	29	（遠足）森林散策&ネイチャーゲーム
28. 11. 21	森林体験学習	学校行事	5年	20	（遠足）間伐，加工現場見学など
28. 12. 18	森林体験学習	PTA	児童，保護者	28	さるやま祭り（巣箱作り）



6年生卒業制作の学校林看板



デッキの板にクギを打つ児童



「サル山の森」に、小鳥の巣箱を設置しました。

今後への期待

30年後、「サル山の森」はどのように発展しているのでしょうか。ドングリ^{しげ}の木が大きく繁り、カブトムシなどの昆虫や動植物が暮らす森^くになっていることでしょう。植林^{しょうりん}を体験した児童がPTA保護者として森林活動^{たずさ}に携わってくれているかもしれません。その時まで、「サル山の森」を世代^{せだい}から世代へとバトンパスしていきたいものです。

【採択事業】

平成26・27年度：「緑の募金」学校の緑整備事業

平成28年度：森林環境税関係事業「森林の体験活動支援事業」

これらの活動は、市耕地林務課や南薩地域振興局、かごしま森林組合など関係者の協力なしには成し得なかったことです。感謝申し上げますとともに、これからも活動を支援いただければ幸いです。



発行 霜出小学校 PTA 事業整備部